No.204　令和３年２月１日

来て！見て！住んで！ Yamakita

やまきたまち　議会　だより

議会のおと

P14～15 … 委員会視察～近隣市町から学ぶ～
P16　　… 山北高校特集～次世代育成への取り組み～
P18～19 … 町民からの貴重な「声」

議会ホームページは
こちらから

持久走大会、駆け抜ける子どもたち！
川村小学校PTA（関連記事は裏表紙に）

10月・11月臨時会（10月7日、11月26日）

新たなコロナ支援策

インフルエンザ予防接種無償化

新型コロナウイルス感染症との同時流行を防止するため、感染リスクの高い方を対象に無償化するもの。

対象者は、65歳以上の方、18歳以下の方及び妊婦の方。

プレミアム付商品券の発行

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、影響を受けている町民の生活を支援するため、また、消費を喚起して地域経済を活性化させることを目的に、プレミアム付商品券を発行するもの。

全ての登録店舗で利用できる共通券と大型店舗以外の店舗で利用できる店舗限定券をセットとした冊子。

水道基本料金の免除

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、影響を受けている町民の生活を支援するため、水道基本料金（12月から3月まで）4か月分が免除されるもの。

水道料金は一世帯当たりいくらの免除か。

水道課長　口径別になっており、基本料金4か月分となっている。

13㎜で2480円（税抜）、20㎜で4720円（税抜）である。

基本料金の免除は公共施設も対象か。

上下水道課長　公共施設も対象となる。

主な補正予算（10月）

事　業	内　容	金　額
予防接種事業	インフルエンザ予防接種補助金、委託料他	1415万円
商品券特別会計繰出事業	商品券特別会計繰出金	3053万円

主な補正予算（11月）

事　業	内　容	金　額
水道事業会計繰出事業	（コロナ禍対応）水道基本料金免除分	1950万円
職員の給料及び手当	人事異動による変更、職員手当の引き下げ	△1376万円

12月定例会（12月7日～10日）

立候補しやすい環境へ

これまで都道府県と市を対象としていた選挙公営制度が町村にも同様に拡大され、候補者の費用負担を軽減し、より多くの立候補意欲を高め、立候補しやすい環境となります。

選挙運動費用が公費負担になるもの

1．選挙運動用自動車の使用料等
2．選挙運動用ビラの作成費
3．選挙運動用ポスターの作成費

新規条例

「山北町議会議員及び山北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」は、総務環境常任委員会に付託され、審議を行い、本会議において全員賛成で可決した。

作成費が公費負担になる掲示用ポスター

条例制定となるまでの経緯は。

総務防災課長　お金のかからない選挙の実現、候補者間の選挙運動の機会均等を図る観点から法改正が行われ、選挙公営については条例で定めることができるようになったため、制定するもの。

公費負担については国からの補助があるのか。

総務防災課長　町が100％負担する。

供託金が没収となったら、それぞれについて公費の負担はないということでよいか。

総務防災課長　公費での負担はなくなる。

介護認定審査期間が短縮

足柄上地区1市5町の介護認定審査を南足柄市に移管するため、規約の変更がされた。

1市5町による認定審査会の共同設置のメリットは。

保険健康課長　認定審査の期間が従来より2週間ほど早くなり、1か月ほどで審査が判定される。

認定審査業務の移管で判定期間の短縮へ

主な補正予算

事　業	内　容	金　額
ふるさと応援寄附金推進事業	返礼品費、ネット委託料	7263万円
教育振興事業	GIGAスクール事業支援業務委託料	418万円
鳥獣害対策事業	駆除助成金	144万円

一般質問

問 人口減少対策に子育て支援の更なる充実を
答 子育て支援を充実させていく

和田 成功 議員

人口減少社会となり、当町においても人口１万人を切り、少子高齢化及び生産年齢人口の減少に歯止めが掛からない現状がある。

そのような中、当町の子育て支援等をさらに充実させる事により、定住・移住対策などにも寄与するものと考え質問する。

子育て支援に3才園児以上へ
完全給食実施に向けた取り組みを

問 保育園ニーズが増加し、完全給食を切望する保護者がいる現状もある。３歳園児以上に対する主食提供の問題は、自治体の主体性を測る良いバロメーターになると考えられている。

今後の完全給食実施に向けて取り組む考えは。

答 主食を持参することへの保護者の負担感の把握、必要経費の算定、実施方法や条件等を考慮した中で、子どもや保護者にとって、より良い給食となるよう完全給食の実施と給食費の負担も含めて慎重に検討していく。

おいしい給食を楽しく食べている
やまきたこども園の園児たち

問 人口減少対策として、子育て支援の充実を図りつつ、子育て世帯の受け皿として民間企業と連携した宅地開発など積極的な取り組みも必要では。

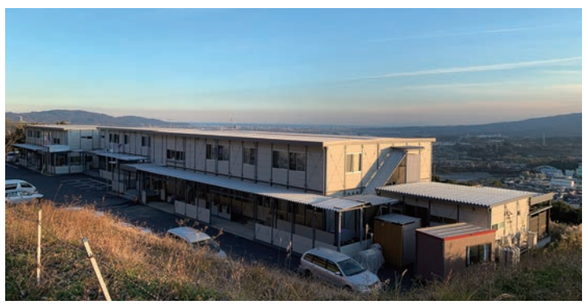
答 向原尾先地区において、周辺の基盤整備を実施し、民間主導の宅地開発を促進していきたい。水上地区においても、町営水上住宅の整備を進めている。

また、向原保育園のこども園化と、移転を計画していることから、併せて水上地区全体の土地利用について、民間企業と連携した宅地開発などを展開していきたい。

基盤整備が待たれる尾先地区（向原）

問 丸山地区の新東名工事業者に貸付けている町有地について、貸付終了後、子育て世帯の受け皿として宅地分譲をしては。

答 工場などの企業誘致を計画しているが、今後は、宅地分譲も視野に入れて検討していきたい。



眺望も良い丸山町有地を宅地分譲にしては

原稿は、質問者本人が作成しています。

議案等審議の結果

第５回臨時会（10月７日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和2年度 山北町一般会計補正予算（第6号） ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、増額補正するもの	可　決	**令和2年度山北町商品券特別会計補正予算（第2号）** ・プレミアム付商品券発行に伴い、増額補正するもの	可　決

第６回臨時会（11月26日）

件名	審議結果	件名	審議結果
山北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・令和2年の人事院勧告に基づき、改定される国家公務員の給与に準じ、職員の給与を改定するもの	可　決	**令和2年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）** ・人事異動により人件費を増額補正するもの	可　決
山北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・令和2年の人事院勧告に基づき、改定される国家公務員の給与に準じ、任期付職員の給与を改定するもの	可　決	**令和2年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第2号）** ・人事院勧告により人件費を増額補正するもの	可　決
令和2年度山北町一般会計補正予算（第7号） ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、増額補正するもの	可　決	**令和2年度山北町水道事業会計補正予算（第1号）** ・新型コロナウイルス感染症に係わる対策として水道基本料金（4か月分）を免除するもの	可　決

第４回定例会（12月７日～10日）

件名	審議結果	件名	審議結果
山北町議会議員及び山北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について ・公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴い、山北町議会議員及び山北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関し必要な事項を定めるため条例制定するもの	可　決	**令和2年度山北町一般会計補正予算（第8号）** ・主に新型コロナウイルス感染症等に伴い、増額補正するもの	可　決
山北町税条例の一部を改正する条例の制定について ・地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの	可　決	**令和2年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）** ・国民健康保険事業費納付金の確定に伴い、増額補正するもの	可　決
山北町育英奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について ・地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの	可　決	**令和2年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第3号）** ・新型コロナウイルス感染症にかかる対策として、事業執行を抑制したため、減額補正するもの	可　決
山北町後期高齢者医療に関する条例の一部改正する条例の制定について ・地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの	可　決	**令和2年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）** ・介護保険指定機関等管理システム負担金等の確定に伴い、増額補正するもの	可　決
山北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について ・地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの	可　決	**足柄上衛生組合規約の変更について** ・南足柄市及び足柄上郡5町で介護認定審査会を共同設置するため、足柄上衛生組合の規約を変更するもの	可　決
山北町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について ・地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの	可　決	**南足柄市外五ケ市町組合議会議員の選挙について** ・山北町選出の組合議会議員を選挙するもの 「深野市郎」氏を選出	指名推選
山北町下水道条例の一部改正する条例の制定について ・接続する酒匂川流域下水道の水質規制が変更されたことに伴い改正するもの	可　決		

一般質問

問 異業種交流によるまちづくりを
答 活用について検討していきたい

石田 照子 議員

まちづくりのカギは、いかに新しいアイデアを出せるかであると考える。
そこで、企業や学生等との連携や、専門知識を持ち国とのパイプ役になれる人材の登用も重要な位置づけとなると思い質問する。

問 町とゆかりのある方や、団体、自治体などと交流を図り、関係人口へつなげたらどうか。

答 山北町とゆかりのある方との交流は良いことだと思う。
現在、新潟県村上市（旧山北町）と産業交流を行っている。
河村氏の子孫、河村建夫衆議院議員には国とのパイプ役としてのご支援をお願いしている。

問 産・官・学・金（金融）などとの連携で新たな価値を生み出す時代である。
時代に乗り遅れないよう検討するべきでは。

答 学生たちのアイデアには期待している。
今後、町行政を進めるにあたり、新たな視点による意見・要望を取り入れ、課題解決に努めることも必要と考える。

町の課題解決に取り組む山北高校の生徒

問 国の制度に ※「地方創生人材支援制度」がある。
派遣の検討をされたらどうか。

答 国・県と連携していく事業には、活用について検討していきたい。

問 当町は90％が山林であり、それゆえに不自由を強いられ、人口減少に歯止めがかからない。
国から人材派遣をしていただいたらどうか。

答 林野庁とは国有林の関係で年１回会合をしている。
町の現状と解決方法に合う方がいたらオファーをかけたい。

（※）地方創生人材支援制度とは
地方創生に積極的に取り組む市町村に対し、国家公務員及び大学研究者、民間専門人材を、市町村長の補佐役として派遣する制度。

町の面積の28％を国有林が占める（写真は世附地区）

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 人口減少問題に第三者の力を
答 近隣市町と連携し移住定住に繋げていきたい

瀬戸 伸二 議員

当町において、人口が一万人を割ってしまった。今何らかの手を打つ必要がある。
東山北１０００計画は、町内外にアピールする必要がある。
東名工事跡地を近隣市町の企業に「山北ベットタウン」計画を打ち出し、居住者を募ったらどうか。
耕作放棄地や遊休農地、森林について、町はビジョンを示すべきである。高齢化が進む当町において、第三者の力による土地利用、人口問題の方向性が必要と考え質問する。

問 町外の企業に、住宅情報をアプローチしていくべきでは。

答 空き家バンク物件の紹介の他、各種イベントにおいて、ハローワークと連携し就職情報と併せ、広く町内外に住宅情報の提供を行っている。

人口と世帯

山北町	12月1日現在					
人口	9	9	7	7	人	
男	4	8	9	5	人	
女	5	0	8	2	人	
世帯数	4	2	3	8	世帯	

山北町の人口及び世帯数

問 森林、耕作放棄地や遊休農地の活用として「地域おこし協力隊」等の要請はしないのか。

答 行政だけでなく地域の協力もあってできるもので、仕組み作りに時間を要する。隊員の貴重な人生を浪費させないためにも、慎重に取り組む必要がある。本町に導入できるような仕組みを検討していきたい。

山北高校魅力型授業の発表会

問 山北高校では「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」を行っている。
他市町からの通学者は95％であるが、町外の生徒が当町に波及し、活躍してもらうことが必要と考えるがいかがか。

答 コミュニティを支える人材の育成を目的としており、将来的に本町にかかわりを持つ山北高校卒業生が増えるように積極的に取り組んでいく。

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 山北駅前交番のあり方は
答 交番廃止でもあらゆる治安対策を考える

瀬戸 恵津子 議員

町長は、令和2年3月定例会において山北駅前交番の廃止は認められないと答弁されたが、その後どのような対応をされたのか。

県警は、計画通り令和3年3月に廃止するという日程を粛々と進めている。一方町は、交番が廃止されてしまった場合の安全、安心、抑止力の低下等の対策はどのように考えているか質問をする。

問 県警は、アクティブ交番を配置するというがワゴンタイプのパトカーを、どのように動かすのか。

答 午前は役場駐車場、午後はふるさと交流センター、14時30分から川村小学校下に平日は毎日駐留する。山北町専用で「でごにいごう」と名称も決まっている。

問 駅前交番が廃止されると犯罪への抑止力が低下する。対応は。

答 防犯カメラを活用し防犯対策を継続的に講じていく。

問 町長は廃止を認められないと発言されたが、関係部署へ働きかけているのか。県の方向性に沿っているだけではないのか。

答 反対してもらえないと受け止めている。県の土地を使ってよいといわれれば、抑止的な面から地域の声を聴き考える。

問 町民2605人の廃止反対の署名をどう考えるか。

答 重く受け止めている。町でできることはやっていく。

問 開成駅前連絡所方式を提案するが考え方は。

答 警察官OBが1名配置されている。松田署と協議したが、乗降客数が少なく人口減少の当町では無理との回答である。

問 県は交番廃止後、いつ取り壊すと聞いているか。

答 予算上、1年から3年位壊せないと聞いている。閉鎖して終わりではない。引き続き県と折衝し対策を考えていく。

問 対策委員会の設置は。

答 山北交番統合連絡会議を設置し会議を持った。

山北、岸、向原、共和連合自治会長がメンバーである。

実験的に設置された山北駅前のアクティブ交番

一般質問

問 LGBTの取り組み状況は
答 人権尊重の町づくりを進める

清水 明 議員

LGBTは性的マイノリティ（性的少数者：セクシャルマイノリティ）を表すことばの一つであり、「性的指向」と「性自認」に分かれる。

無理解から偏見差別を生み、学校生活や社会生活で困難に直面する場面があとを絶たない。

本来であれば、性的マイノリティであっても差別的な扱いを受けることなく平等に、かつありのまま生きられる社会でなければならないが、現実は差別の問題や、通常であれば享受できる権利やサービスを受けられないといった状況にある。そこで、当町での現状はどうなっているか質問する。

問 町のLGBT問題への基本姿勢は。

答 LGBTに対する人権尊重のまちづくりを推進する中で、差別や偏見がなくなるよう研修や広報などに努め、人権に関する理解や啓発を行っていく。

問 教育委員会のLGBT問題への取り組みは。

答 教育委員会では、LGBTの具体的な取り組みを「人権啓発チラシ」で啓発活動を行い、差別がなく誰もが幸せに暮らすことができる地域社会の実現を目指している。

問 山北中学校のLGBT教育の対応は。

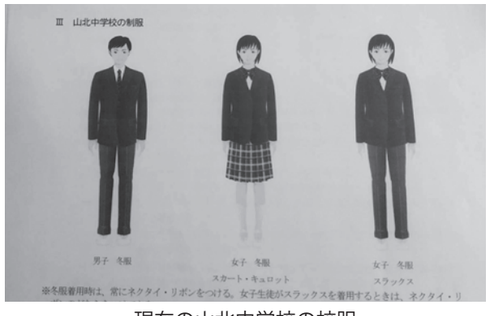
答 一学年の生徒と保護者を対象に性同一性障害をテーマとしたPTA家庭教育学級を開き、LGBTへの理解を進めている。

また、制服については校則に「女子のスラックス、ネクタイの着用を認める」と明記し、性別にかかわらず、自分にあった制服を着用できるように校則の見直しについて検討を始めている。

問 川村・三保小学校のLGBT教育の対応は。

答 川村小学校では、「わたしらしく、あなたらしく」をテーマに児童の人権感覚、人権意識を高める活動を行っている。

三保小学校では職員対象の人権研修会を開催し、全校児童対象に人権感覚、人権意識を高める指導を行っている。



現在の山北中学校の校服

※LGBTとは

Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、性別越境者）の頭文字をとった単語。

一般質問

問 地域創成拠点としての山北駅周辺整備の推進を
答 山北駅周辺魅力づくり推進をしていく

堀口 恵一 議員

「山北町第２期人口ビジョン・総合戦略」が令和２年３月に町から出ている。小さな拠点づくり事業としてカフェ、コンビニ事業支援があるが、山北駅を中心に考えれば近くに、ふるさと交流センター、健康福祉センター、生涯学習センター、役場庁舎、こども園、D52のある鉄道公園、銀行などが点在しており、今後予定されている多目的体育施設も含め一つの回遊エリアとして見る事ができる。このエリアを地域創成拠点として認識してはと思い質問する。

問 町内広域に点在する町の魅力を連想、連携させる機能を増やしてはと考えるがどうか。

答 これからの地域創成拠点は（仮称）山北スマートIC周辺と考えている。山北駅周辺については「山北駅周辺魅力づくり推進事業」を展開しており、関係団体や周辺の事業者から要望があった場合には、全力で支援していく。

今回想定している回遊エリア地図

問 D52の軌道延伸計画25ｍでは短い。山北駅舎から山北町商工会館付近までのＪＲ敷地を買い取り、新しい鉄道公園にすれば１８０ｍ位にはなる。この考えはどうか。

山北駅舎とホームの間のＪＲ敷地

D52を配置した場合のイメージ（合成写真）

答 ＪＲ用地買収について正式に聞いたことはないが、非常に困難と考えている。

問 回遊エリアを「歩きたくなるような歩道」として整備してはどうか。

答 可能な箇所からバリアフリー化を進め、車いすなどでも利用しやすくしていく。
また、景観上好ましくない跨線橋の汚れなども除去していく。

問 「来たくなるような駅」の整備についてはどうか。

答 ・縦型風力発電街灯の必要性については調査する。
・電気自動車充電設備設置については総合的に判断する。
・ＪＲへの駅構内の草刈り実施要望をしていく。
・バリアフリー化されていない駅施設の整備を引き続きＪＲに強く要望していく。

※地域創生拠点とは造語で地域を作り上げ完成させていくという拠点という意味

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 新たな広域連携で魅力あふれるまちづくりを
答 県域を越えた広域連携も進めていく

児玉 洋一 議員

当町の人口も一万人を切り、この先も人口減少に歯止めをかけるのは難しい。このままいけば町の将来はどうなるのか。
町民一人ひとりが活力あふれる将来の山北町を作っていくために、県域を超えた新たな広域連携の必要性もあると感じ、次の質問をする。

問 スマートＩＣ土地利用構想の進捗と、道路整備・雇用促進・観光振興等を見据えた新たな広域連携の必要性は。

答 庁内関係課による調整会議を設置し、周辺土地利用構想の事業化に向けた検討を始めた。
スマートＩＣが県西地域の新たな玄関口となるよう、広域的な地域活性化の方策について、国・県や周辺自治体と広域連携を進めていく。

（仮）山北スマートICは完成まであと3年
町の玄関口として魅力あふれる土地利用を

問 「御殿場市と山北町における関係人口の創出・拡大に向けた相互連携協定」締結後の取り組み状況と成果は。

答 令和２年３月に御殿場市との関係人口の創出・拡大に向け、連携協定を締結した。
まずは観光振興として、イベント交流をはじめ今後、雇用対策も含めた相互の課題解決に向け、両市町で連携し取り組んでいく。

霊峰富士を有する御殿場市や小山町との連携で関係人口の創出を

問 富士・箱根・伊豆交流圏（ＳＫＹ広域圏）を形成する幹線道路の整備促進に対し、県や国を交えた検討組織を立ち上げる考えは。

答 令和２年度から県の関係職員との意見交換会を始めた。
今後、当町における広域的な道路整備のあり方や必要性を明確に整理し、ＳＫＹ広域圏で同じ問題を抱える自治体とも連携しながら、県・国へ幹線道路の整備促進に向けた働きかけをしていく。

静岡県（S）、神奈川県（K）、山梨県（Y）
それぞれの頭文字をとってS.K.Y.（スカイ）広域圏と呼ぶ

S 静岡 SHIZUOKA
K 神奈川 KANAGAWA
Y 山梨 YAMANASHI

活気あふれる圏域づくりを目的に、現在38市町村で構成している。

原稿は、質問者本人が作成しています。

「議会改革」を考える 先進事例に学ぶ住民参加・情報公開

研修会レポート 1

令和2年11月4日（水）～11月5日（木）
滋賀県・全国市町村国際文化研修所

講師：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
中村 健 氏　他3名

全国から議員が集まった研修会場

今回はコロナ禍のため人数を制限し、全国より73名の議員が参加しました。

山北町議会改革の取り組みの一環として、議会と住民感覚とのズレを確認理解し、現実課題を解決し、住民の未来を創造する議会活動をするために、住民参加が必要だと思いました。

「わかりやすく住民が参画する議会」「しっかりと討議する議会」「住民が実感できる政策を提言する議会」を基に、住民・議会・行政と協働の町づくりには、情報の共有（情報公開）が大切だと感じます。これまでより住民と対話し意見を聴き、更なる議員・議会の資質向上に努めてまいります。

（議会のあり方検討委員会　清水明委員長、遠藤和秀副委員長が参加）

研修会レポート 2

足柄上郡町村議会議長会議員研修会 「インターネット法律問題 ～SNS活用術～」

令和2年11月11日（水）山北町役場

講師：神奈川弁護士会　齋藤宙也　弁護士

SNSで正しい情報発信を学ぶ

議員がSNSを利用するにあたり、誹謗中傷やプライバシーの侵害等の注意点、選挙運動や情報発信などの政治活動、議員活動に有効につなげていけることの講義を受けました。

それぞれ議員が適切にSNSを利用し情報発信や活動報告を行うことにより、議会の見える化にもつながっていきます。

議会広報モニターのアンケートでもSNSを活用してはとの声をいただきましたので、慎重に取り組みます。

一般質問

問 自然の中で五感を育てる環境づくりを
答 山北ならではのことができるよう考えていく

冨田 陽子 議員

現在当町の子育て支援は充実してきている環境といえる。

しかし、一方で近くに子どもがのびのび遊べる公園がないなどの保護者の声があり、子どもがのびのび育つ環境整備は不十分である。

五感を使って自然の中で遊ぶことは、好奇心を育て自分で考える力もつく。

町内の豊かな農地、森林等を活かした遊び場があることや特色ある保育、教育を行うことは、子どもたちにとっても町の未来にとっても有意義であり移住を検討している子育て世代にとっても選択肢の一つとなると考え、質問する。

禁止事項が多く遊びにくい山北児童館の広場

使いやすくなり利用者が増えたぐみの木近隣公園
他の公園も遊びやすく

問 せせらぎが流れ、木陰で保護者が子どもを見守るような空間がある公園への取り組みは。

答 過去に一部の公園で噴水等水を流したこともあるが、汚濁があり衛生面で問題になった。

ミストなどを取り入れ利用しやすい公園にしていきたい。

問 自然の中で思いっきり体を動かすことができるよう、みかん畑や山林などを利用してプレイパークをつくる取り組みは。

答 事故の発生などに対応できるよう安全確保が取れる必要があるので調査研究していく。管理してくれる民間の団体があれば可能である。

問 田んぼでどろんこ遊びや園庭で木登りできるなど自然を活かした特色ある取り組みを幼保で取り入れては。

答 全園共通のカリキュラムを策定し、自然に親しむ園外保育を各園で実施している。今後も自然に触れ合う教育・保育を積極的に取り入れていく。

プレイパークとは??

- 自然の中で体を使い思いっきり遊ぶことができ、子どもたちがやりたいと思うようなことができる空間（木登り、穴掘り、工作、焚火、どろんこ遊びなど）
- 県内でも公園内や民有地を利用し常設や臨時も含め多くの場所で運用されている。

原稿は、質問者本人が作成しています。

委員会視察

福祉教育常任委員会

福祉教育常任委員会では、「子どもの居場所づくり」をテーマに放課後児童クラブ（学童保育）の調査研究をしています。

そこで、南足柄市学童保育の業務委託や学校と学童保育との連携について視察しました。

また、大井町社会福祉協議会には、移送サービスやボランティア活動について、視察しました。

10月8日　南足柄市

南足柄市の学童保育は市が運営し、業務委託されています。委託業者の学童部長が全ての学童を回り情報収集し、毎月主任支援員を集め情報共有化を図るなど統一化した安定的な運営がなされています。

学校と学童保育の連携については、教頭先生が窓口になり情報を共有しています。

コロナ禍で、学校と学童保育が見守りをしていることで安心感が増すと感じました。

委員会では、学童保育で子どもたちが安心して過ごせる環境となるように取り組んでいきます。

当町の児童クラブの様子

多様なニーズに応える
子どもの居場所づくりを

10月14日　大井町

高齢化率40%超え、更なる福祉サービスの向上を

大井町社会福祉協議会の福祉移送サービスは、一週間前の予約制で行われていましたが、「住民一人ひとりの声に応えていきたい」との思いで検討し、予約を前日までとして、利用者を増やしました。

ボランティアの活動は、移送運転、ベルマーク整理、傾聴等があり、課題は高齢化や関心意欲の低下など、どこの町でも課題は同じと感じました。

当町においても共通する課題がありますので、委員会で調査研究をして提案していきます。

総務環境常任委員会

総務環境常任委員会では、今年度「スマートＩＣ周辺の土地利用構想」と「公共交通対策」の２つのテーマを中心に活動してきました。

そこで、近隣自治体でもスマートＩＣを含めた土地利用構想の進む静岡県小山町と町内コミュニティバス運行が充実している中井町を視察してきました。

10月22日　小山町

土地利用構想には、
将来のグランドデザインが最も重要

当町同様、令和5年度の完成に向け工事が進む（仮称）小山ＰＡスマートＩＣの周辺土地利用構想は、そこを拠点に富士スピードウェイに隣接するモータースポーツビレッジや、内陸フロンティア事業として開発の進む工業団地への導線が明確に示されていました。

その背景には、交流人口の拡大・雇用創出・定住対策・観光振興等、行政の考える将来構想に対して、国・県及び民間企業との強固な連携が構築できているからと感じました。

当町では、未だスマートＩＣ周辺の土地利用構想が示されていません。今後、スピード感を持った土地利用計画に対し、委員会としても積極的に行政に働きかけていきます。

10月29日　中井町

町内を走るオンデマンドバス
（通院・通学・買い物など幅広い層で利用）

中井町では、令和2年度から新しいオンデマンドバス運行事業を開始しました。オンデマンドバスとは、利用者からの予約により、あらかじめ指定された乗降ポイントに移送可能なサービスで、交通空白地域が多く、公共交通網が不十分な自治体にとっては、とても有効な運行形態です。

中井町の利用者は、高齢者のみならず、学生や主婦層の利用率も高く、スマートフォンアプリからの予約システムも導入しています。また乗降ポイントを最寄りのごみ集積所にするなど、利便性の向上に努められていると感じました。

当町にとっても公共交通網の再構築は重要課題です。委員会としても、中井町も参考に効率的な公共交通網の再構築に向け、調査研究に努めていきます。

活動報告

次世代育成小委員会

当小委員会は大学・高校との交流連携を推進することにより、山北町を担ってくれる町内外の次世代の育成を目指しています。

大学との連携としては、上智大学との交流を進めていましたが、コロナ禍のためストップしています。

また、高校との連携として、地元の山北高校と交流を図りながら、若者の声を町づくりに活かしていきます。

山北高校特集

地域課題をグループワークで取り組む生徒たち

目指すところは「未来を探求する」

山北高校は全国で20校だけが選ばれた文部科学省指定の研究校です。「地域との協働による高等学校教育改革推進事業　地域魅力型研究開発校」のテーマのもと、２０１９年度から「総合的な探求の時間」で「未来探求」を始めています。

また、併せて神奈川県教育委員会の「ＳＤＧｓをテーマとした総合的な探求の時間にかかる研究」の指定も受け、県西部で県が推進する「未病」と地域の課題である「防災」をテーマに据え研究を進めています。

輝く未来を描く探究活動

12月17日第2学年による学校設定教科「あしがら」の取り組みに関する発表会が行われ、委員会で見学してきました。

「未病」「地域防災」の各コース別に学年全員で発表し、その成果を共有しました。学校と地域が連携した一層の教育活動の充実と推進を期待させる発表会でした。

このような学生による取り組みが、将来のまちづくりを目指すきっかけになれば幸いと思いました。今後も次世代育成に努めてまいります。

チームに分かれた成果発表

小委員会

議会のあり方検討委員会

定数問題小委員会

定数問題を論議するにあたって、まず「議会は町民の皆さんからどのように見られているか」「町民の皆さんの議会に対する意見や考え方を認識する」ことから始めなければという問題意識から、アンケートを実施することにしました。

町民の皆様からは、インターネットを含め３１４件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

皆さまからいただいた「声」を大切にし、よりよい結論を導き出せるよう議員全員で論議し、公表してまいります。

ＩＣＴ活用小委員会

タブレット端末操作を学ぶ（議員研修）
ＩＣＴを活用し町民から見える議会に

議会の見える化、見せる化のハード環境を整えるため、次の取り組みを進めています。

★議会インターネット中継
　導入に向けた調査研究
★議会タブレット導入
　に向けた調査研究
★オンライン会議の推進
　（新しい生活様式の活用）

ＩＣＴの様々なツールを活用し、町民の皆さまへ情報発信ができる環境づくりに努めます。

清水委員長のつぶやき

議員は選ばれた人である。

よって、議員は特別な存在だという声が聞こえます。我が身を振り返って、それは違うなと思います。生まれついての優秀な、それこそひとあじ違う議員もいるかもしれません。

でも自分は普通の町民です。（つい、「普通」と言ってしまいますが、この「普通」も曲者ですね。その裏に自分は正しいのだという思い込みが見え隠れします。）

生まれながらに議員になるべく素質を持って生まれたとはとても思えません。だから研修を積まなくっちゃなりません。利口になって町のことが隅々まで分かるようになりたいと思っています。

残り２年間は長いとはいえませんが頑張る所存です。

叱咤激励をお待ちしております。

好評につき連載決定？

No.203議会のおと
広報モニターアンケート

15名の議会広報モニターの皆様から、前号のアンケートに回答していただきました。毎回参考となるご意見やご指摘、アイデアをいただきすぐ取り入れられるものは早速編集に活かしております。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

～表紙・裏表紙について～

- 三保地区の団結が写真から伝わってきた。
- 仕方がないが、町広報と写真が同様だった。
- 大きい写真の他は、参加者の声なんかも載せたらよかったのでは。

～内部紙面について～

- 新規条例の防災監のページは分かりにくかった。
- 写真１枚１枚に横書きキャプションがついていてわかりやすかった。
- 審議結果で賛成・反対のあった項目を紙面から探すのが困難だった。
- 読みやすい紙面にしようという努力が伝わってくる。

～議会だよりを多くの人に読んでもらうために～

- 特集記事など、面白い・楽しい・わくわく感のある情報を掲載してほしい。
- 議員をもっと身近に感じてもらえるように「人物風土記」のような議員紹介コーナーを設けると興味を引くのでは。
- ページや項目ごとに配色を変えたらどうか。

～一般質問について～

- 密を避ける世の中で、山北のいい所を発掘するチャンスだというのが読んでいて伝わってきた。
- 町からの答えを載せて終わっているが、それを受けて議員がどう考えるかなど、「まとめ」的な文があるとなお興味がわく。
- 添付写真に似たようなものが使われて、無駄が多い。
- 質問内容が今まさに問いただして欲しいと思うテーマで嬉しく思った。

※全集計結果はホームページに掲載しています。

やまきた町議会
おしゃべりCafe開催しました!!

　議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的におしゃべりＣａｆｅを開催しました。
　今回は清水ふれあいセンターにて初めて開催しました。今後は様々な場所で開催し、より多くの方との意見交換をしていきます。

9/20 健康福祉センター

- 議員の定数に対する町民の声を収集するべきである。
- 子育て世代の人でも議員になれるよう兼業を認めるべきである。
- 真に14名の議員が必要か考えるべきである。
- 人口対策は人口に見合った行政運営とすべき。

10/20 小田原百貨店

- 山北高校の地域探究授業は地域との連携協力が必要で、地域と共に特色ある学校に育てていきたい。
- 故郷に戻ってこれる人材育成が必要と考える。
- 山北高校の生徒は、地元に職を求めている。

11/20 清水ふれあいセンター

- スマートIC土地利用は地域への説明がなく、地元で協議するため情報が必要である。
- 議員定数は議員の働き方次第で判断すべき。
- 議会だよりは昔に比べて読みやすくなっている。
- 議会アンケートを実施してよかったのではないか。
- つぶらの公園をどの様に活かすのか。
- 国道246の渋滞対策は山北町だけの問題だけでなく、関連する自治体と連携して考えていかなければならない。
- 町は子育てに手厚いので助かっている。
- 学校跡地の利用として、住民の集える場所や公園等の施設を作ってほしい。

おしゃべりカフェは毎月20日開催!

　町議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。気軽にお立ち寄り頂き、皆さまの『声』をお聞かせください。

日時：２月20日（土）　13：30～15：30
場所：役場４階議員控室内ミーティングルーム

日時：３月20日（土）　13：30～15：30
場所：共和のもりセンター

※緊急事態宣言の発令に伴い、感染防止対策として三密を防ぐため、予約制で開催します。なお、２月の開催場所は、小田原百貨店山北店でお知らせしていましたが、役場４階に変更しています。
　開催日の前日までに議会事務局（75－3653）まで電話にてお申し込みください。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、急遽中止にする場合もあります。
※お越しいただく際は、マスクの着用にご協力をお願いします。

※本紙面では、ご意見の一部をご紹介します。
※詳細な意見はホームページで閲覧できます。

活きいきひろば

連携し尊重し合える運営を

川村小学校ＰＴＡ
会長　藤澤秀樹さん

今年度のスタートは、新型コロナウイルスの影響で学校は休校中、先の活動を見通せない中、誰もが初めての経験を繰り返す状況下で始動しました。

ＰＴＡでは安全対策費として、コロナウイルス対策に少しでも多く活用できるような予算案を考えました。

学校が再開し、登下校時の見守り隊や駐在所の方々、先生方との素晴らしい連携を通し、改めて地域のつながりの大切さを実感できました。

ＰＴＡは健やかな子どもの成長と地域の発展のために、学校と児童の保護者が一丸となって活動できる場所と考えております。その土台となる、親と子、親と先生、保護者同士のつながり、地域の方々とのコミュニケーションがとても大切です。

コロナウイルスの影響が続いておりますが、こんな時こそ、お互い連携し尊重し合えるようなＰＴＡの運営を心掛けたいです。

議会報告会・意見交換会 中止のお知らせ

毎年１、２月に開催しています「議会報告会・意見交換会」は、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は開催を中止させていただきます。

例年参加いただいている皆さんには大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願いします。

議会の傍聴においでください

第１回定例会（予定）

３月４日（木）～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ　議会事務局　**75-3653**

議会ホームページ

山北町ホームページ
→町議会のアイコンをクリック

編集後記

令和３年最初の議会だよりです。早１か月を過ぎましたが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍ではありますが、広報モニターアンケート、町内全世帯を対象とした議会アンケート、おしゃべりＣａｆｅなどで色々な声が届いています。地域の特性を活かした自主自立のまちづくりが望まれる昨今ですので、皆様のご意見が非常に重要なことと考えております。

広報分科会は議会の情報発信基地であるとの認識の上、議会だよりを編集させていただいております。

今後とも皆様のご意見をいただきながら情報発信していきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

（堀口恵一）

広報分科会
会長　冨田陽子
副会長　堀口恵一
委員　和田成功
清水明
児玉洋一
遠藤和秀